

市教委「洛陽・伏見両工業高校を統合」!?



▶洛陽工業高校



教育委員会が市立工業高校のあり方について、学者などで行った「将来構想委員会」に諮問。同委員会は両校の「統合」を打ち出しました。「生徒数が減っていくので教育効果が低下」「耐震化工事に多額の費用がかかる」ことなどを理由に挙げています。しかし、生徒数減が直ちに教育効果の低下になるかどうか慎重な検討が必要、耐震化も

様々な工法があり、財政を理由とする教育の後退は許されないなどと、批判しています。

また、この方針書では、「産業界が求める人材の育成」が強調されていますが、教育の目的は人格の完成にあるべきです。

一方、府内公立高校の教育と入試のあり方についても、教育委員会は「類型の廃止」「総合選抜から単独選抜へ」「通学圏の拡大」などに変更することを決めました。しかし、複雑な制度にしてきたことへの総括は全く不十分で、どんな制度にするにせよ、「学校間格差をつくらない」、「どの生徒にも等しく豊かな教育を保障する」、「希望者全員に進路の保障を」などの原則を前提とすべきと追及しています。

国保料引き下げ
消費税増税中止
くらしの底上げ、格差縮小を
平和憲法を守れ



議会無視の市長の独断専行を批判

市長は市立保育所を民間化するとの方針を掲げ、移管先法人を募集、決定しました。しかし、民間化するかどうかは議会が決めることで、議会が何も決めていないの

に次の移管先法人を決めるのは、自治体の意思決定の仕組みを全く無視するものです。議会人として絶対に許せないと論陣を張っています。

水道料金値上げ!?

市長は水道料金の値上げ方針を表明しています。老朽水道管の更新に多額のお金がかかるなどと言っています。市民税や介護保険料などの値上げ、黒字なのに国保料は値下げしない、その上、差押えや徴収強化

など、これらが「市民との共汗」なのでしょうか。水道は「いのちの水」であり、市長には「低廉で豊富な水を供給」する義務があります。党市会議員団は先手を打って「値上げすべきでない」と「声明」を発表しています。

井上 けんじ

日本共産党 京都市会議員

です

URL <http://inoue-kenji.jp/> ① shikai@inoue-kenji.jp

地元要求実現へ 東奔西走



市は「京都駅八条口を整備」との方針。「関係者の合意と納得を前提にすべき」と求めています。

西大路駅のバリアフリー化が決定。早期実現めざし、引き続き頑張ります。



市長は高速道路の久世橋線など計画路線の廃止を明言。約束を守れと追及しています。

十条通り、近鉄高架下の横断歩道の設置が実現。



UR住宅と市立保育所の耐震化が実現。再三議会で取り上げ、UR本部にも申し入れました。

日本共産党



井上けんじ 暮らしの110番

(電話)090-7880-9442